

平成 2 9 年千葉市教育委員会会議
第 9 回定例会会議録

千葉市教育委員会

平成29年千葉市教育委員会会議第9回定例会会議録

日時 平成29年9月20日(水)

午後2時00分開会

午後2時40分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

| | | |
|------|-------|-------|
| 出席委員 | 教 育 長 | 磯野 和美 |
| | 委 員 | 中野 義澄 |
| | 委 員 | 和田 麻理 |
| | 委 員 | 小西 朱見 |
| | 委 員 | 千葉 雅昭 |
| | 委 員 | 藤川 大祐 |

| | | | | |
|------|---------------|-------|-------------------------|-------|
| 出席職員 | 教 育 次 長 | 神崎 広史 | 教 育 支 援 課 長 | 福本 順 |
| | 教 育 総 務 部 長 | 大野 和広 | 保 健 体 育 課 長 | 古山 智和 |
| | 学 校 教 育 部 長 | 伊藤 裕志 | 教 育 セ ン タ ー 所 長 | 根本 厚 |
| | 生 涯 学 習 部 長 | 大崎 賢一 | 養 護 教 育 セ ン タ ー 所 長 | 吉岡 龍子 |
| | 中 央 図 書 館 長 | 小林 幹弘 | 生 涯 学 習 振 興 課 長 | 山田 利雄 |
| | 教 育 総 務 部 参 事 | 大橋美帆子 | 文 化 財 課 長 | 志保澤 剛 |
| | 総 務 課 長 | 國方 俊治 | 教 育 職 員 課 教 職 員 担 当 課 長 | 山下 敦史 |
| | 企 画 課 長 | 伊原 浩昭 | 総 務 課 長 補 佐 | 大須賀隆之 |
| | 教 育 職 員 課 長 | 武 大介 | 総 務 課 総 務 班 主 査 | 高桑 太綱 |
| | 学 校 施 設 課 長 | 杉山 信弘 | | |
| | 学 事 課 長 | 大井 力 | | |
| | 教 育 指 導 課 長 | 中嶋のり子 | | |

| | | | | |
|-----|-----------|-------|-----------|-------|
| 書 記 | 総 務 課 主 事 | 坪山 耕太 | 総 務 課 主 事 | 鈴木 理沙 |
|-----|-----------|-------|-----------|-------|

- 1 開会
磯野教育長より開会を宣言
- 2 会議の成立
全委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名
磯野教育長より小西委員を指名
- 4 会期の決定
平成29年9月20日（1日間）ということで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定
議事日程を全委員異議なく決定
- 6 議事の概要
 - (1) 非公開事項の決定
議案第51号を非公開審議とする旨決定
 - (2) 報告事項
報告事項(1)平成29年度中学校体育大会の結果について
古山保健体育課長より報告があった。
 - (3) 議決事項
議案第50号 千葉市立千城台南小学校と千城台旭小学校との統合について
伊原企画課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。
議案第51号 平成29年度千葉市教育功労者表彰について
國方総務課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。
 - (4) 発言の要旨
報告事項(1)平成29年度中学校体育大会の結果について
磯野教育長 保健体育課長、報告をお願いします。
古山保健体育課長 報告事項(1)「平成29年度中学校体育大会の結果について」、報告させていただきます。
まず7月15日土曜日から20日木曜日の6日間にわたり開催いたしました千葉市中学校総合体育大会は、天候にも恵まれ、予定どおり終了することができました。大会初日の15日には、教育長と学校教育部長にそれぞれ、各会場を視察していただきました。
千葉県中学校総合体育大会は、本市及び市原市等全42会場で、7月25日の火曜日から8月2日水曜日まで、関東大会につき

ましては、本県及び山梨県等1都7県で8月5日土曜日から8月11日金曜日まで開催されました。

全国大会は、8月17日木曜日から25日の金曜日まで、福岡県等の九州・沖縄ブロックで開催されました。

初めに、千葉市中学校総合体育大会団体の結果について、ご報告させていただきます。

まず、本市では、今年も3年連続優勝を果たした学校に大変栄誉な「永久杯」を獲得した学校がありました。「永久杯」とは、三連覇を果たした学校に贈られる賞で、優勝杯のレプリカであります。が贈られております。今年の場合は、水泳競技の女子で、花園中学校、剣道女子で幕張本郷中学校がこの「永久杯」を見事獲得いたしました。

次に、千葉県中学校総合体育大会では、バスケットボール男子で草野中学校が、バレーボール男子で蘇我中学校、ハンドボール男子で若松中学校、剣道女子で幕張本郷中学校が、それぞれ優勝を果たしました。

関東大会では、体操競技男子で県第2位の打瀬中学校、バスケットボール男子で県優勝の草野中学校、バレーボール男子で県優勝の蘇我中学校、ハンドボール男子で県優勝の若松中学校、ハンドボール女子で県準優勝の花園中学校、剣道男子で県第3位の幕張本郷中学校、同じく第6位のみつわ台中学校、剣道女子で県優勝の幕張本郷中学校が出場を果たしました。そのうち、バスケットボール男子の草野中学校は第3位という結果となりました。

全国大会には、バスケットボール男子で草野中学校、剣道女子で幕張本郷中学校が出場し、草野中学校はベスト16ということになりました。

次に、個人の県大会・関東大会・全国大会の結果をご報告いたします。

まず県大会では、陸上競技で4種目、水泳で7種目、体操競技・新体操・バドミントン・剣道で、それぞれ1種目、また、柔道で4種目において優勝がございました。

関東大会では、9種目に81人が出場し、陸上競技女子2年100メートルで第1位、共通200メートルで第2位、新体操で個人総合第1位、柔道66キロ級男子で準優勝、剣道男子で準優勝を果たしました。

全国大会には、6種目で合計28人が出場いたしました。
新体操個人総合で第1位、第2位、水泳競技男子200メートル平泳ぎで第2位でありました。

なお、9月1日に、選手、校長、顧問が教育長に全国大会の優勝並びに準優勝の報告を行いました。

今年度の中学校体育大会を総括しますと、個人種目では、関東・全国大会ともに昨年度以上の出場数があり、特に関東大会の出場は過去5年で最多となりました。また、新体操、水泳競技等、多くの種目で好成績を挙げることができました。また、団体種目でも、関東大会は昨年度同様、全国大会では昨年度より1種目多く出場することができました。来年度も、個人、団体ともに、より多くの種目での本市生徒の活躍を期待したいと考えております。

以上でございます。

磯野教育長 ありがとうございます。

では、ご質問、ご意見等ありましたら、お願いいたします。

和田委員。

和田委員 子どもたちはもちろん先生方も大変よく努力して頑張っておられたと思います。感謝申し上げます。大会を通じて、大きな事故ですとか、運営上の問題や課題といったことがあるようでしたら、教えてください。

磯野教育長 保健体育課長。

古山保健体育課長 熱中症や骨折等についての報告は数件ありました。しかし、重篤なけが等はなく、また、運営上の大きな事故等もなく、予定どおり無事終えることができました。

以上でございます。

磯野教育長 他にはどうでしょう。

千葉委員。

千葉委員 今、ご報告いただきまして、昨年よりも結果が良かったとお聞きしましたが、何か力を入れているとか、理由があるのでしょうか。

それから、僕が住んでいる川口市は水泳やサッカーに力を入れていますけれども、千葉市として特に何か力を入れているような種目があるのかどうか、お聞きしたいと思います。

磯野教育長 保健体育課長。

古山保健体育課長 成績が良かったというのは、まだこれから分析しなければわ

かりませんが、先ほど和田委員からもありましたように、本当に顧問の先生方を中心に、一生懸命普段の指導の成果がよい結果として表れたのかなと思っているところでございます。

それから、特に力を入れているということですが、これといった種目ではなく、どの種目につきましても、大変、一生懸命やっています。

ただ、部活動の数で見ますと、野球、サッカー、バスケットボールの3つが多くあります。

それから、所属している生徒数で見ますと、サッカー、バスケットボール、バドミントンに多くの生徒が参加しているという状況になっております。

以上でございます。

千葉委員 あと1点、最近、サッカーとか野球で、部活動とは別に、個々のクラブチームがあって疑問に思っているのですが、部活を一生懸命やっているとクラブには行けないだろうし、逆にクラブに入っている人は、部活に出られなくて、野球のクラブに入っていると、クラブのほうに忙しいから、中学校の部活動に何か入らなければいけないとなったらば、全然関係ない音楽のクラブに入っていたり、というのをお聞きしたのですが、そういった傾向というのは千葉市には何か見受けられますでしょうか。

磯野教育長 保健体育課長。

古山保健体育課長 実際数は把握はしていませんが、確かに千葉市の場合はサッカーや野球のクラブチームもありますし、そちらのほうに積極的に参加している生徒も多くいます。部活動は、学校教育の一環という記述が学習指導要領にありますので、人間形成という部分についても育てていくという部分が大きいと思っております。

以上です。

磯野教育長 他にはどうでしょう。

中野委員。

中野委員 新体操ですけれども、これは部活というよりは教室でしたよね。その所属している教室の指導者がすごいということでしょうか。

磯野教育長 保健体育課長。

古山保健体育課長 確かにすばらしい指導力だと思います。生徒は、新体操のクラブに所属しており、そちらのほうで本当に熱心に平日も土日

も休みなく練習を繰り返して、すばらしい成績をあげることができました。

以上です。

磯野教育長 これは個人種目の場合、水泳もそうですが、部活動の大会などに出るために臨時に顧問をやっていただく先生方がいて、当然、クラブチームの大会にも出ている場合があります。他にも先ほどの例でいくと、野球はシニアに入っているけれども、体を鍛えたいから、学校の部活動は陸上だけ入って、足だけ鍛えて、普段は野球の練習に行くというケースもやはりあります。他にはよろしいですか。

議案第50号 千葉市立千城台南小学校と千城台旭小学校と統合について

磯野教育長 企画課長、説明をお願いいたします。

伊原企画課長 議案第50号「千葉市立千城台南小学校と千城台旭小学校の統合について」、千葉市教育委員会組織規則第8条第3号の規定に基づき、議決を求めるものであります。

初めに、これまでの取り組み経過についてですが、平成19年に策定されました千葉市学校適正配置実施方針に基づき、22年2月に地元代表協議会を設立し、小・中学校の保護者説明会なども開催しながら、協議を進めてまいりました。

現在、千城台地区には小学校が5校、中学校が2校あります。まずはその中で、千城台南小学校と旭小学校を統合すべきとの合意に至り、29年8月21日に地元代表協議会から、統合に関する要望書が教育長に提出されたところです。

また、千城台北小学校と西小学校については、地元協議会において、協議を継続中であります。

次に、統合計画についてです。まず、通学区域図によって、学校配置状況について説明いたします。

この地図では、左上が北を示しております。黒マルが小中学校の位置を示しており、白マルで囲みましたが、これが千城台南小学校と旭小学校です。

千城台地区の中央にモノレールが通っており、千城台南小学校と旭小学校の学区の間は、モノレールの下を通る、いわゆるモノレール通りと言われます大通りとなっております。千城台南小学校と旭小学校の距離は、移動距離でおよそ800メートル程度です。若干の学区外通学者がおりますが、現状では、千城

台旭小学校区内の金親町から通学している児童が、およそ1,700メートルで、最長通学距離となっておりますので、統合しても、距離は変わりません。

次に、児童数と学級数についてです。29年5月1日現在の千城台南小学校の児童数は、193人、学級数は7学級となっております。また、千城台旭小学校の児童数は、127人、学級数は6学級となっております。

33年に統合いたしますと、児童数が330人、12学級が見込まれており、適正規模となります。

次に、統合スケジュールについてです。千城台旭小学校の耐震補強工事及び大規模改修工事を、居ながら施工により実施し、33年4月に統合することとしています。

次に、統合についての課題ですが、要望書においては、大規模改修を基本としたリニューアルの実施、統合に伴う非常勤職員の配置、通学路の安全対策などが要望されており、子どもルームについては、現千城台旭小学校の敷地内に設置すること、跡施設活用の要望事項については、改めて提出することが記載されております。

次に、議決事項ですが、千城台南小学校と千城台旭小学校の統合について、統合校の設置場所を、現千城台旭小学校の位置とし、居ながら施工で改修工事を行うこと、統合時期を、平成33年4月とし、新設校として開校すること、以上のことにつきまして、議決いただきますようお願いいたします。

なお、統合を実施する理由といたしましては、一つに、33年4月統合後の学級数が12学級となり、当面、学校規模の適正化が図られること、二つに、最長通学距離が約1,700メートルで文部科学省基準の範囲内であり、子どもたちの通学距離や安全性において特に問題がないこと、三つに、地域活動や防災上の拠点として、地域コミュニティに配慮された学校配置であること、四つに、児童や保護者の交流などを推進し、およそ開校2年前に統合準備会を設置することにより、子どもたちの負担軽減と学校施設の充実を図るための、十分な準備期間を確保することができること、こういった点を評価するとともに、活力ある学校づくりを通して、「わかる授業・楽しい教室・夢広がる学校」の実現のため、適切であると認められることから、議決を求めるものでございます。

説明は以上でございます。

磯野教育長 ありがとうございます。

では、審議に移りますけれども、質問を含め何かございますでしょうか。

和田委員。

和田委員 統合に向けた課題のところ、給食の対応の部分ですが、千城台旭小学校については、一定期間、給食室の使用ができなくなると思いますが、この期間は、給食もしくはお弁当といった対応が決まっているのでしょうか。

磯野教育長 企画課長。

伊原企画課長 今、ご指摘のとおり、旭小学校の大規模改修により給食室が使用できなくなることを既に保護者や地元協議会には説明してあります。その際に、現在のところは、お弁当ということが原則と説明しております。これから準備会等で協議を進めて参りたいと思っております。

和田委員 お弁当を持って、学校に行くということですか。

伊原企画課長 現在のところ、そのような説明をしております。今後、統合準備会が開かれますので、そのあたりも準備会として協議して参りたいと考えております。

和田委員 大変ですね。

千葉委員 給食センターでつくることはできないのでしょうか。

和田委員 中学校しかセンターはないですね。

千葉委員 親の負担がありますね。

和田委員 お弁当を持っていくことについては、保護者の方等から既に意見はありますか。

伊原企画課長 実際にはまだ、3年先なので、現在は、特にそのような問題は出てきておりませんが、教育委員会の事務局サイドでは、やはり負担があるという意見は出ております。

和田委員 お弁当以外にも、何かもしかすると、可能性が出てくるかもしれないということですか。

伊原企画課長 現在、協議、検討中です。

和田委員 わかりました。

磯野教育長 他にどうぞ。

中野委員。

中野委員 この2つに学校のうちの、旭小のほうに統合が決まったというのは、どういった経緯なのでしょうか。旭小のほう、通学

の距離が長い児童にも、通学時間に影響がないということで、旭小になったのでしょうか。結果として、上手くいったなどは思いますけれども。

磯野教育長 企画課長。

伊原企画課長 中野委員からのご指摘のとおり、通学距離が、真ん中になるということも、一つの理由だったと思うのですが、この統合を決める際に、両方のPTAの会長が、それぞれの学校の良さを地元協議会の場で発表しております。その中で、旭小学校のほうは、PTAの代表の方が、非常に学校の教室数が多いということ、校舎の面積が広いということがありまして、これからのさまざまな教育活動に対応できる校舎となるということ、その際、説明をしました。

一方、南小学校のほうは、日当たりが良いとか、非常に景観がいいとか、そういった学校教育の環境のことを、やはり説明をして、お互いのPTA会長が説明したところで、地元協議会の中で、どちらの位置にするかというのを決めたという流れでありました。

中野委員 やはり通学距離というのはすごく大事だと思うので、結果として良かったと思います。地元のところで、あすみが丘東というところから、あすみが丘にある小学校に、まだ小さな1年生がランドセルを背負って、随分時間をかけて通学しているのを見ると、やはり距離は短いほうが、子どもにとっても良いでしょうし、距離が長いと途中で休むところが必要らしいですね。コンビニとか、そういうところが協力しているらしいんですけども、そういう意味でも、通学路が新たに長くならなかったのは良かったかなと感じます。

磯野教育長 ありがとうございます。

小西委員。

小西委員 統合に向けた課題の通学路の安全対策についてですが、千城台南小から旭小に抜けていく途中でモノレールの大通りがあって、その安全対策に関する要望が出ているということでしょうか。具体的な要望内容を教えていただけますか。

磯野教育長 企画課長。

伊原企画課長 ご指摘のとおり、南小と旭小の間にいわゆるモノレール通りという大きな通りがございます。横断歩道等はあるのですが、地元協議会の中では、子どもたちが渡っているときの見

守りとか、安全に渡らせるために、どちらの学校から、どのように見守りの活動をしていくかという点が、具体的に要望として出されています。それについては、また、先ほど申し上げました、統合準備会の中でも話し合っていくことになります。

小西委員 セーフティーウォッチャーなどについても両校で話し合い、今後もしっかりとした安全対策をとれるように、計画いただけるということで大丈夫ですね。

伊原企画課長 はい。準備会の中で協議していきたいと思います。

磯野教育長 よろしいですか。

他にはどうでしょうか。

よろしいですか。

では、ご質問もないようですので、議案第50号千葉市立千城台南小学校と千城台旭小学校の統合についてを原案どおり可決したいと考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、原案どおり可決いたします。

以上で、公開審議案件にかかわる審議は終了いたしました。

委員の皆様、ここまで、その他として何かご意見、ご質問等がございますか。よろしいですか。

ないようですので、次に議案第51号にかかわる審議に移りますが、以降の審議につきましては非公開となりますので、傍聴人の方は退室をお願いいたします。

では、改めて審議を再開いたします。

議案第51号 平成29年度千葉市教育功労者表彰について

磯野教育長 総務課長、説明をお願いします。

國方総務課長 議案第51号「平成29年度千葉市教育功労者表彰について」、ご説明申し上げます。

平成29年度千葉市教育功労者としまして、議案書に掲げる方々、及び団体を表彰することについて、千葉市教育委員会組織規則第8条第8号の規定の基づき、議決を求めるものでございます。

記載の表彰候補者につきましては、千葉市教育功労者表彰規則及び千葉市教育功労者表彰の表彰基準細則に則り、関係所管が推薦したものでございます。

その後、推薦された方々及び団体について、8月30日に開催

いたしました教育功労者表彰審査委員会において、審査、決定されております。

今年度の表彰候補者の内訳をご説明いたします。

学校保健関係として、学校医15名、学校歯科医5名、学校薬剤師3名の計23名、生涯学習関係として、スポーツ関係の1名、学校教育関係として校長51名、教諭3名の計54名の個人78名と小学校4校、中学校3校の計7団体でございます。

各表彰候補者の推薦理由等につきましては、議案書の推薦事由、功績概要等をご覧ください。

なお、表彰式は、11月7日火曜日、午前10時30分から、オークラ千葉ホテルで開催の予定でございます。ご出席のほど、よろしくお願いいたします。表彰式の詳細につきましては、後日、改めてお知らせいたします。

以上でございます。

磯野教育長 ありがとうございます。

では、審議に移りますが、質問等を含め、何かございましたら、お願いいたします。

藤川委員。

藤川委員 ご説明ありがとうございます。推薦の方法についてももう少し詳しく伺えればと思います。例えば、教諭については3名が推薦されていますが、非常に限られた方が推薦されていると思います。こういう方というのは、どなたが推薦されてやっていったのかということがある程度わかればありがたいですが、いかがでしょうか。

磯野教育長 総務課長。

國方総務課長 まず、今回の表彰の候補者につきましては、先ほどご説明をさせていただきました表彰基準細則の基準に照らし合わせて、関係所管が候補者を挙げ、その中から、所管の推薦という形になります。例えば教諭をとこの委員のご質問もありましたので、教諭の推薦の過程については、教育職員課から説明をさせていただきます。

磯野教育長 担当課長。

山下教育職員担当課長 教育職員課です。表彰者の推薦については、教育職員課が原案を作成しております。教諭3人の推薦についても同様です。今までの慣例として、校長以外の教職員を退職する年に毎年、数名表彰しております。表彰者については、関係課等からの情

報をもとに、本市の学校教育に特に実績を挙げた教職員を推薦しているところです。その際、要件にある千葉市立学校教職員表彰を受賞し、勤務成績が良好の職員を推薦しております。

以上です。

藤川委員 恐らくかなりの方が長く勤務された場合に、千葉市の教育に大きく貢献されているとも言えると思うのです。ですから、細則を拝見したんですけれども、では、具体的にどうやってその数人を推薦するのかというプロセスがもう少しクリアになったらありがたいなと思うのですが、今回議案でもありますし、ぜひ、その手順というのでしょうか、平等性等がいかに確保されているかなどを中心に、もう少しご説明いただけないでしょうか。

磯野教育長 担当課長。

山下教育職員担当課長 細則には、20年以上の勤続年数が必要と示されており、この条件を満たす教職員は、1,100名前後おります。その中で何故3名かといいますと、長年の功労に報いることと、他の表彰関係で、養護教諭、事務職員、学校栄養職員を含めた教職員に対して、市の研究奨励賞、県の教育奨励賞、国の優秀表彰等がありますので、このような表彰を受賞された教職員以外にも地道に本市のために尽力された方々を推薦しているところです。

以上です。

藤川委員 意見ですが、それにしても、もっと候補者がいるんだろうと思うのです。やはり説明責任というのでしょうか、こういうものについては、できるだけ多くの方が納得いくようなやり方が望ましいと思いますので、もう少し明確な手順であるとか、基準であるとか、そういったものがあるとありがたいと思いました。もちろん、今までの経緯等、あると思いますので、すぐに大きく変えていただきたいとまでは申しませんが、やっぱり時代の変化も踏まえて、徐々に透明性が上がっていくなど期待しております。

以上です。

磯野教育長 ありがとうございます。

その他どうでしょうか。

小西委員。

小西委員 細かいことですが、今年度、生涯学習の表彰者が1名なので

すが、過去の受賞者を見ると、例年複数名受賞されているかと思ひます。今年1名だけというのが寂しいと思ひますが、何か理由があれば、教えていただけますでしょうか。

磯野教育長 総務課長。

國方総務課長 今回、生涯学習の対象となっているスポーツ関係、1名とあります。市長部局の推薦を受けた者でございますが、生涯学習関係は、新しい団体が余り出てこない中で、実績がある方はすでに表彰を受けているという状況があり、新たな表彰を受ける対象者が、年々少なくなっているという理由があります。

以上でございます。

磯野教育長 よろしいですか。

その他にどうでしょうか。

では、今、藤川委員のほうから、基準細則の見直しを含めた貴重な意見をいただきましたので、説明責任の観点からも、今後、関係課で、これについては審議と、また提案がありましたら、よろしくお願ひします。

では、ご質問がないようですので、議案第51号「平成29年度千葉市教育功労者表彰について」を原案どおり可決したいと思ひますが、いかがですか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、原案どおり可決いたします。

8 その他

- (1) 第10回定例会は、平成29年10月18日(水)午後2時より開催することと決定した。

9 閉会

磯野教育長より閉会を宣言